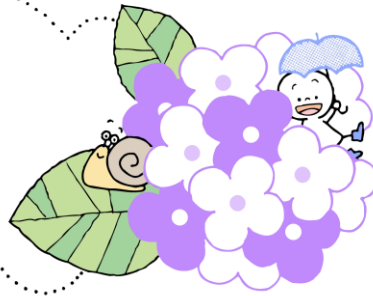


6月

保育室

すまいるだより



2019.5.31 NO.20

保育室 すまいる

<月のテーマ：動き出す>

年齢別 月の保育のねらい

<1歳児>

- 身の回りのことを「やってみよう」という気持ちを持って取り組もうとする。
- 保育者や友だちと一緒に体を動かすことを楽しむ。

<2歳児>

- 素材や色の違いに興味を持ちながら、造形的な活動を楽しむ。
- 保育者や友だちと一緒にリズムや体操など、全身を使って表現を楽しむ。

<3歳児>

- 自分の思いを保育者や友だちに言葉で伝えようとする。
- 好きな遊びを友だちと発展させて楽しむ

<4歳児>

- 自分のしたい遊びにじっくりと取り組んだり、保育者や友だちと関わり一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- 空、おひさま、雲、雨などの自然を感じる。

<5歳児>

- 自分でしたいことが増え、楽しさを感じるとともに葛藤も味わう。
- 絵本やお話を通して豊かな言葉に出会う。

<学童>

- 友だちと関わる中で自主的に宿題をしたり、時間になったら遊んだ後の片づけをする。
・17時15分になったら一度片付ける。(学童のメンバーが話し合いで決めました)

<6月の歌>

はを
みがきましょう



<つばめと人間の知恵比べ>

最近、ツバメが二羽保育室にやってきています。

入口の正面の蛍光灯の上に、巣を作ろうとしている様子？

ツバメが入ってくると子どもたちは大喜びです。「わぁ、ツバメさんが・・・」

「お部屋に入ってきちゃったよ」「どこに行くのかな?」「お友だちかな?」最初のうちは歓迎していた保育者でしたが、保育室の廊下まで入ってきて、あちこちに糞を落としていく・・・

入ってこないように入口にスズランテープで暖簾を作ってみました、短い長さにしてしまったので、下をくぐって入ってくる燕さんたち。「スズランテープを足して長めにする、きっと入ってこないよ」とスズランテープを長くしてみますが、ツバメは外からじっと眺めて、風の入り方でスズランテープの流れを読んで、その間から上手に入ってくるのです。「鷹の絵が嫌らしい・・・」

「カラスの絵が嫌らしい・・・」次々試してみますが、燕さんは学習能力があるようで次々クリアして入ってくるのです。「へびが嫌らしい・・・」へびが苦手な保育者は躊躇してへびの絵はまだ試していませんが・・・この対決今後どのようなようになるでしょうね？

